

【羽柴秀吉書状（折紙）】

はしばひでよししよじょう

おりがみ

将亦鉄砲の薬廿斤・

鉛廿斤、自是可進候間、

たしかなるものを取可越候、

旁其元物成おそく候ハ、

かり田を仕候て、兵糧已下

丈夫可成其意事專一候、

為音信松茸并

大豆腐到来、快然候、

毎度如此之御気遣

祝着不少候、

其表之儀、万端

由断無之様肝用候、

恐々謹言、

筑前守

（天正九年）
八月廿八日

（一五八一）

秀吉（花押）

亀井新十郎殿

進之候